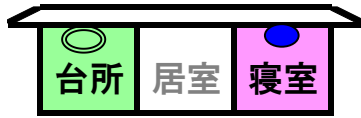


# 住宅用火災警報器 設置場所早見表

## 1階建の例



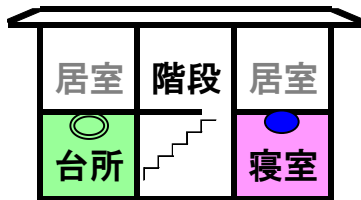
※「寝室」は全て設置する必要があります。

～凡例～

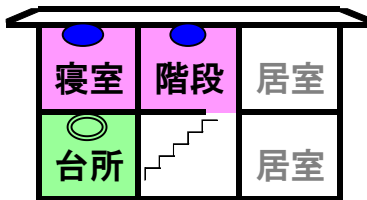
- … 住宅用火災警報器(煙感知式)
- … 住宅用火災警報器(煙又は熱感知式)  
※ は設置に努める。

## 2階建の例

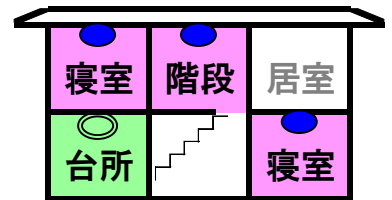
◆ 寝室が1階のみ



◆ 寝室が2階のみ

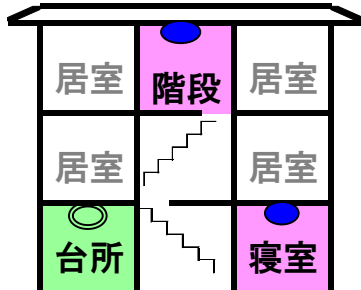


◆ 寝室が1階・2階にある

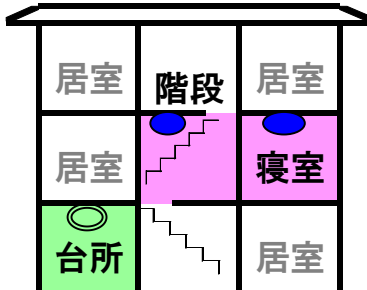


## 3階建の例

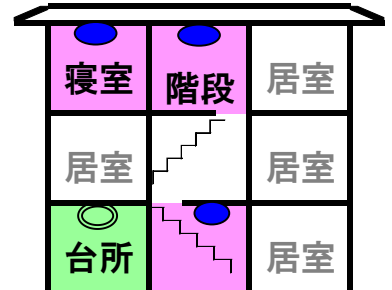
◆ 寝室が1階のみ



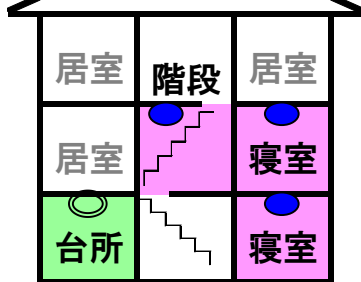
◆ 寝室が2階のみ



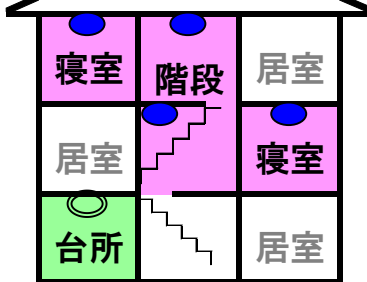
◆ 寝室が3階のみ



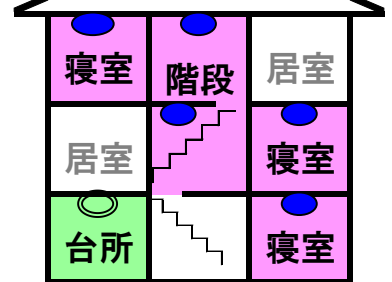
◆ 寝室が1階・2階にある



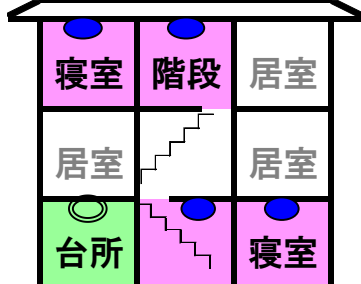
◆ 寝室が2階・3階にある



◆ 寝室が1階～3階にある



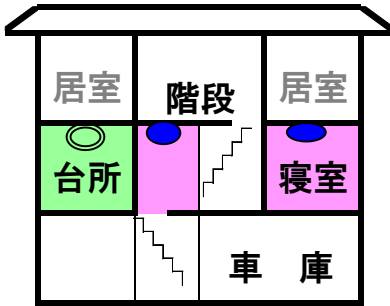
◆ 寝室が1階・3階にある



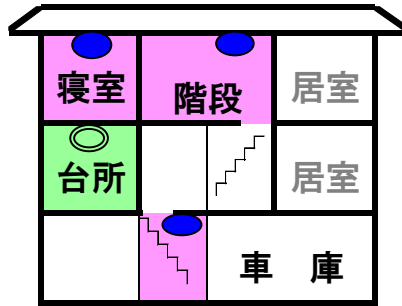
## 3階建（高床式）の例

### ※ 1階～2階の屋内階段がある場合

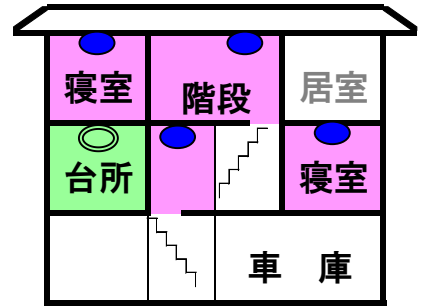
◆ 寝室が2階のみ



◆ 寝室が3階のみ

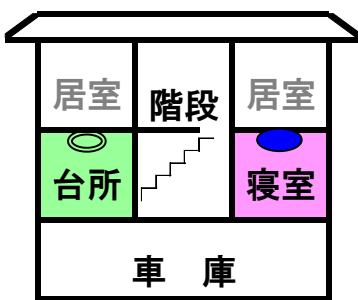


◆ 寝室が2階・3階にある

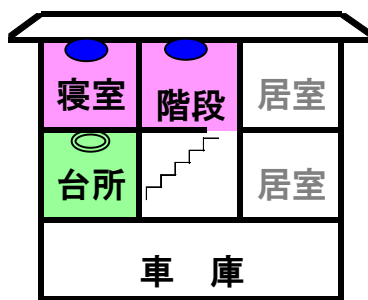


### ※ 1階～2階の屋内階段がない場合

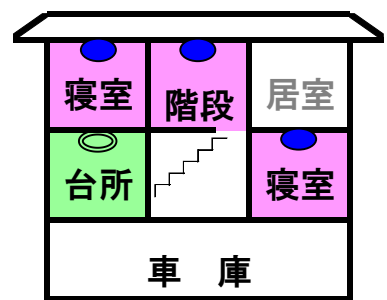
◆ 寝室が2階のみ



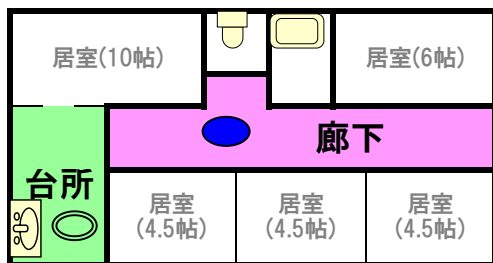
◆ 寝室が3階のみ



◆ 寝室が2階・3階にある



## 廊下に設置が必要な例



1つの階に四畳半(7㎡)以上の部屋が5部屋以上ある場合は、廊下へも設置が必要です。

## 住宅用火災警報器



交換のおすすめ  
10年たったら、  
とりかえろ。



古くなると、電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。10年を目安に交換しましょう。

また、定期的に作動確認し、火災時の警報音を確認しましょう。



## 連動型 住宅用火災警報器

連動型 住宅用火災警報器は、火災を感知すると他の居室に設置された警報器も連動して警報が鳴ります。単独型よりも火災の早期発見・早期対応に効果があります。

※ 上記一覧表によらない場合もありますので、ご不明な点は

十日町地域消防本部 ・ 予防課

025-757-1557までお願いします。